

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来 成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正 使用	感染症(PT)	出典	概要
125	2006/2/28	50931	財団法人 化学及血 清療法研 究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン① 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド② 沈降破傷風トキソイド③ ジフテリア破傷風混合トキソイド④ ジフテリアトキソイド⑤ コレラワクチン⑥ 沈降精製百日せきジフテリア破傷 風混合ワクチン⑦、⑧ 破傷風トキソイド⑨	ペプトン	ブタ胃		①添加物 ②～⑨製 造工程	無	無	無			
126	2006/2/28	50932	財団法人 化学及血 清療法研 究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン① 乾燥弱毒生風しんワクチン② 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン③ 組織培養不活化狂犬病ワクチン④	コレステ ロール	ヒツジ毛	ニュージ ーランド、オ ーストラリア	①、④製 造工程 ②、③添 加物・製 造工程	無	無	無			
127	2006/2/28	50933	財団法人 化学及血 清療法研 究所	乾燥細胞培養痘そうワクチン インフルエンザHAワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチ ン インフルエンザワクチン	ラクトビオ ン酸エリ スロマイ シン	ウシ乳	アメリカ、カ ナダ、ニュー ジーランド	製造工程	無	無	無			
128	2006/3/1	50934	川崎三廣 製薬株式 会社	胎盤性性腺刺激ホルモン	胎盤性性 腺刺激ホ ルモン	ヒト尿	中国	有効成分	無	無	無			
129	2006/3/2	50935	持田製薬 株式会社	日本薬局方 注射用胎盤性性腺刺 激ホルモン	注射用凍 結乾燥製 剤	ヒト(妊婦)尿	中国	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	Reuters Foudation AlertNet, Newsdesk 2005年8月22日	スウェーデンの研究グループはこれまで知られていなかった小 児の重症呼吸器感染の原因である可能性が高いウイルスを Human bocavirusと命名した。小児病棟540例の小児の検 体において17例の病因であった。小児において重症呼吸 器感染症の12-39%の原因が同定されていない。
												ウエストナイル ウイルス	厚生労働省 平成 17年10月3日	厚生労働省は2005年10月3日、米国から帰国した男性会 社員(30歳代)が、米国で流行中のウエストナイル熱と診断 されたと発表した。日本で初のWNV感染例である。この患 者は米国で感染した可能性が高い。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
												ウエストナイルウイルス	Emerg Infect Dis 2005; 11: 1294-1296	2004年米国で、WNV性脳炎発症8日後の65歳患者から採取した尿検体からWNV RNAが検出された。しかし、その後の尿検体からは検出されなかった。血液中の中和抗体が尿へのWNV排泄を阻害しているのかもしれない。今後WNV感染患者の尿検体検査時期を検討する必要がある。
												変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Science 2005; 310: 324-326	慢性炎症性腎疾患が、感染性プリオンを尿中に排出する引き金になるか検討した。リンパ球性腎炎を有するスクレイピー感染マウスの尿蛋白を接種した非感染マウスは、スクレイピーを発症した。尿はプリオンの水平感染ベクターとなり、排泄臓器の炎症はプリオンの拡大に影響を及ぼす可能性が示唆された。
												トリインフルエンザ	CDC 2005年11月7日 http://www.cdc.gov/flu/avian/outbreaks/asia.htm	WHO鳥インフルエンザH5N1型の更新情報。2003年～05年のアジア、ヨーロッパにおけるH5N1型鳥インフルエンザ感染の動物およびヒトでの進展状況。動物では家禽、渡り鳥、ブタ、ネコ科動物での感染が確認されている。
												トリインフルエンザ	厚生労働省 平成18年1月10日 http://www.mhlw.go.jp/houdou/2006/01/h0110-4.html	平成17年6月以降、高病原性鳥インフルエンザが確認された茨城県及び埼玉県内の養鶏場の従業員等及び防疫業者の一部に対し、感染症の有無を確認するために健康状態及びウイルス検査を実施したが、インフルエンザ様症状を示す者はなく、PCR検査によるウイルス遺伝子検査の結果はすべて陰性であった。また、血清中和抗体検査では、第1回抗体検査と第2回抗体検査との間で4倍以上の抗体価上昇が15例で見られた。全体としては353名中77名が陽性と判定された。
												トリインフルエンザ	WHO/CSR 2006年1月19日 http://www.who.int/csr/don/2006_01_19/en/index.html	中国衛生省はH5N1型トリインフルエンザウイルスによるヒト感染例をさらに1例確定した。この患者は四川省在住の35歳女性で、家禽選別者として働いていたが、発症9日目に死亡した。この症例は中国における9例目の確定診断例で、そのうち6例が死亡している。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来 成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正 使用	感染症(PT)	出典	概要
130	2006/3/2	50936	持田製薬株式会社	下垂体性性腺刺激ホルモン	下垂体性性腺刺激ホルモン	ヒト(閉経期婦人)尿	中国	有効成分	有	無	無	トリインフルエンザ	厚生労働省 平成18年1月10日 http://www.mhlw.go.jp/houdou/2006/01/h0110-4.html	平成17年6月以降、高病原性鳥インフルエンザが確認された茨城県及び埼玉県の養鶏場の従業員等及び防疫業者の一部に対し、感染症の有無を確認するために健康状態及びウイルス検査を実施したが、インフルエンザ様症状を示す者はなく、PCR検査によるウイルス遺伝子検査の結果はすべて陰性であった。また、血清中和抗体検査では、第1回抗体検査と第2回抗体検査との間で4倍以上の抗体価上昇が15例で見られた。全体としては353名中77名が陽性と判定された。
												トリインフルエンザ	WHO 2006年1月19日 http://www.who.int/csr/don/2006_01_19/en/index.html	中国衛生省はH5N1型トリインフルエンザウイルスによるヒト感染例をさらに1例確定した。この患者は四川省在住の35歳女性で、家畜選別者として働いていたが、発症9日目に死亡した。この症例は中国における9例目の確定診断例で、そのうち6例が死亡している。
131	2006/3/2	50937	持田製薬株式会社	日本薬局方 ヘパリンナトリウム注射液	日局 ヘパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	フランス	有効成分	無	無	無			
132	2006/3/3	50938	あすか製薬株式会社	日局胎盤性性腺刺激ホルモン	胎盤性性腺刺激ホルモン	ヒト尿	中国・ブラジル	有効成分	有	無	無	変異型クローンフェルト・ヤコブ病	Neurology 2005; 64(Suppl1): A100	サウジアラビアで初のvCJD患者の報告された。患者は牛肉を食べ、海外渡航歴として1995年にフランス2週間、98年に米国1年間、英国4日間の滞在歴があった。臨床的、神経病理組織学的、遺伝子学的にvCJDと確定診断された。
												トリインフルエンザ	The Australian online 2005年10月20日 http://www.theaustralian.news.co.au/common/story_page	インドネシアで、感染症病院の医師が、男性1名とその息子1名、ならびに幼児1名がトリインフルエンザ感染の疑いがあると発表した。同国でのトリインフルエンザによる死亡例は公式には3例であるが、H5N1ウイルスによると疑われる死亡例は、少なくともさらに6例はいる。
												トリインフルエンザ	WHO 2005年11月17日 http://www.who.int/csr/don/2005_11_17/en/	中国衛生省によると、中国で初めて2例の高病原性トリインフルエンザウイルス(H5N1)感染症例が確認された。1例(9歳少年)は回復したが、もう1例(24歳女性)は死亡した。インドネシア衛生省は、さらに2例のH5N1型トリインフルエンザ感染者を確定した。2例とも危篤である。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
												トリインフルエンザ	WHO 2006年1月5日 http://www.who.int/csr/don/2006_01_05/en/	トルコ保健省は、H5型ウイルスによるトリインフルエンザに感染した初めてのヒト2例を確認した。14歳の少年と、その姉である15歳の少女で、両症例とも死亡した。当局によると1月1日以来、この2例を含め11例の患者が同様の症状で入院している。当局の要請により、WHOなどからの専門家チームがトルコに派遣された。
133	2006/3/6	50939	武田薬品工業株式会社	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド コレラワクチン ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥破傷風ウマ抗毒素	ウシ肉水	ウシ肉	オーストラリア	製造工程	無	無	無			
134	2006/3/6	50940	武田薬品工業株式会社	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド 沈降精製百日せきワクチン ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥破傷風ウマ抗毒素	カザミノアシド	ウシ乳	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
135	2006/3/6	50941	武田薬品工業株式会社	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥痘そうワクチン 沈降精製百日せきワクチン コレラワクチン ジフテリアトキソイド ワイル病秋やみ混合ワクチン ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥ジフテリアウマ抗毒素	ポリペプトン	ウシ乳	ニュージーランド・中国	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来 成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正 使用	感染症(PT)	出典	概要
136	2006/3/6	50942	武田薬品 工業株式 会社	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 日本脳炎ワクチン 乾燥日本脳炎ワクチン 弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン	ラクトアル ブミン水 解物	ウシの乳	ニュージ ーランド、オ ーストラリア	製造工程	無	無	無			
137	2006/3/6	50943	武田薬品 工業株式 会社	沈降精製百日せきジフテリア破傷 風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイ ド 沈降破傷風トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥破傷風ウマ抗毒素	ウシ心臓 透析外液	ウシ心臓	オーストラ リア	製造工程	無	無	無			
138	2006/3/6	50944	武田薬品 工業株式 会社	インフルエンザHAワクチン	発育鶏卵	発育鶏卵	日本	製造工程	無	無	無			
139	2006/3/6	50945	武田薬品 工業株式 会社	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン	ニワトリ 胚細胞	ニワトリ胚	日本	製造工程	無	無	無			
140	2006/3/6	50946	武田薬品 工業株式 会社	乾燥まむしウマ抗毒素 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥破傷風ウマ抗毒素	ペパジン	ブタ胃	アメリカ合衆 国	製造工程	有	無	無	E型肝炎	日本公衆衛生雑誌 2005; 52(8S): 922	北海道における急性E型肝炎患者を対象とし、E型肝炎ウイルス感染および重症化の危険因子について検討した。急性E型肝炎患者27例中25例(93%)が発症の2週から8週前にブタレバーかホルモンを摂取していた。IV型感染例はIII型より重症であった。また基礎疾患の有無が重症化と密接な関連があった。
141	2006/3/6	50947	武田薬品 工業株式 会社	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン	トリパジン	ブタ膀胱	アメリカ合衆 国、カナダ	製造工程	有	無	無	E型肝炎	日本公衆衛生雑誌 2005; 52(8S): 922	北海道における急性E型肝炎患者を対象とし、E型肝炎ウイルス感染および重症化の危険因子について検討した。急性E型肝炎患者27例中25例(93%)が発症の2週から8週前にブタレバーかホルモンを摂取していた。IV型感染例はIII型より重症であった。また基礎疾患の有無が重症化と密接な関連があった。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
142	2006/3/6	50948	武田薬品工業株式会社	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥破傷風ウマ抗毒素	バクトカジト	ウシの乳	ニュージーランド、アメリカ合衆国、オーストラリア	製造工程	無	無	無			
143	2006/3/6	50949	武田薬品工業株式会社	乾燥弱毒生麻しんワクチン① 乾燥弱毒生風しんワクチン② 乾燥弱毒生おたふくかせワクチン③ 日本脳炎ワクチン④、⑤ 乾燥日本脳炎ワクチン⑥ 弱毒生風しんワクチン⑦ 乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン⑧	ウシ血清	ウシ血液	①～③アメリカ、ニュージーランド、オーストラリア、④～⑥ニュージーランド、⑦アメリカ、⑧ニュージーランド、オーストラリア、	製造工程	無	無	無			
144	2006/3/6	50950	武田薬品工業株式会社	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド 沈降精製百日せきワクチン ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥破傷風ウマ抗毒素	スキムミルク	ウシの乳	アメリカ、日本	製造工程	無	無	無			
145	2006/3/6	50951	武田薬品工業株式会社	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥破傷風ウマ抗毒素	ウシ肝臓	ウシ肝臓	オーストラリア	製造工程	無	無	無			
146	2006/3/6	50952	武田薬品工業株式会社	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリアトキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 乾燥ジフテリアウマ抗毒素	ウマ血清	ウマ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
147	2006/3/6	50953	武田薬品工業株式会社	痘そうワクチン 乾燥痘そうワクチン	ウシ皮膚	ウシ皮膚	日本	製造工程	無	無	無			

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来 成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正 使用	感染症(PT)	出典	概要
148	2006/3/6	50954	武田薬品 工業株式 会社	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふかぜワクチン 弱毒風しんワクチン	筋アデ ニール酸	ウマ筋肉	アメリカ	製造工程	無	無	無			
149	2006/3/6	50955	武田薬品 工業株式 会社	ウイルス病秋やみ混合ワクチン	ウサギ血 清	ウサギ血液	日本	製造工程	無	無	無			
150	2006/3/6	50956	武田薬品 工業株式 会社	乾燥まむしウマ抗毒素 乾燥ジフテリアウマ抗毒素 乾燥破傷風ウマ抗毒素	ウマ免疫 グロプリ ン	ウマ血清	日本	有効成分	無	無	無			
151	2006/2/15	50957	デンカ生 研株式 会社	発疹チフスワクチン	卵黄囊	ニワトリの受 精卵		製造工程	無	無	無			
152	2006/3/8	50958	東和薬品 株式会社	塩化マンガン・硫酸亜鉛配合剤	コンドロイ チン硫酸 ナトリウ ム	魚類の軟骨 抽出物	アメリカ	添加物	有	無	無	インフルエンザ	CDC/MMWR 2006; 55(02): 44-46	近年、世界的にA型インフルエンザウイルスの間でアダマンチン耐性率が有意に増加し、米国でも2003年から2004年のインフルエンザシーズンには1.9%だった耐性率が、2004年から2005年のシーズンには11%に増加した。一方、ノイラミニダーゼ阻害薬に対する耐性は世界的にまれである。米国は2005年から2006年の残りのインフルエンザシーズンにはインフルエンザにアダマンチンを使用しないように勧告した。
												トリインフルエ ンザ	Lancet 2006; 367: 84	中国本土で初めて、A型トリインフルエンザウイルス(H5N1)のヒト感染症例が確認された。2005年10月8日に発症した12歳少女は、9日後に死亡した。弟の9歳少年は発症したが、回復した。村では家禽が9月から死に始めており、患者の家でも飼っていたことから、家禽からのウイルス感染とみられる。
												インフルエンザ	N Engl J Med 2005; 353: 2667-2672	オセルタミビル治療中のベトナム人患者8例中2例から、オセルタミビルに対する高度耐性をもたらすノイラミダーゼのアミノ酸置換を伴うA型インフルエンザ(H5N1)ウイルスが分離された。この2例の患者は死亡した。生き残った患者では治療中、ウイルス値は急速に検出できないレベルにまで減少した。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来 成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正 使用	感染症(PT)	出典	概要
153	2006/3/9	50959	日本 シェーリ ング株式 会社	インターフェロンベーター1b(遺伝子 組換え)	人血清ア ルブミン	人血液	アメリカ	添加物	有	無	無	変異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	HPS Weekly Report 2005, 39: 189	英国保健省はvCJD罹患率を割り出すために、保存されて いる虫垂および扁桃検体を検査した。その結果、vCJD罹 患率は10-30歳で100万人当たり46-692例であると見積 られた。この値は臨床例からの推定値よりはるかに大き かった。
154	2006/3/9	50960	日本ビー シージー 製造株式 会社	精製ツベルクリン	乳糖	ウシの乳	オランダ、ペ ルギー、ドイ ツ、ルクセン ブルク	添加物	有	無	無	BSE	Vet Rec 2005; 157: 206	6月齢の雌ヒツジ30頭にBSEウシの脳5gを経口投与し、6ヶ 月後に、同月齢のBSE脳非投与のヒツジ20頭と、一つの群 れとして生活させ、自然交配させ、出産させた。投与群で は30頭のうち24頭が投与後655日から1056日の間に死亡 した。2003年に生まれた2頭の子羊はBSEで死亡した。子 羊の母親2頭は臨床症状を呈した。ヒツジにおいてBSE が、子宮内や出産前後に伝播しうることが初めて確認され た。
												変異型クロイツ フェルト・ヤコブ 病	J Neurosci 2005; 25: 7944-7949	シカやヘラジカのプリオン病である慢性消耗病(CWD)のヒ トへの伝播性をトランスジェニックマウスを用いて調べた。 ヘラジカまたはヒトのPrPを発現するようにしたトランスジ ェニックマウスにヘラジカCWDプリオンを脳室内接種したと ころ、前者(シカ化マウス)は26例中25例が発病したが、後者 (ヒト化マウス)は51例全てが発病しなかった。ヒトがシカの CWDに感染する危険性は極めて低いと思われる。
155	2006/3/9	50961	日本ビー シージー 製造株式 会社	精製ツベルクリン	全卵	ニワトリの卵	日本	製造工程	有	無	無	トリインフルエ ンザ	Science 2005; 309: 1206	2005年5月4日、中国西部の青海省青海湖の鳥の島で数 羽のトリが死んでいるのが発見され、6月末までに1000羽 以上の野鳥が罹患した。病理所見はH5N1型トリインフル エンザに感染した家禽と同じであり、複数のH5N1型トリイ ンフルエンザウイルスが分離され、香港2004年分離株と密 接な関連が認められた。渡り鳥のH5N1型トリインフルエン ザ感染は潜在的な世界的脅威である。
												トリインフルエ ンザ	Virology 2005; 339: 101-109	2003年に中国から日本に輸入されたアヒル肉から、遺伝 型が特異なH5N1型インフルエンザウイルスが分離され た。この分離株はニワトリには高病原性を示したが、マウ スには示さなかった。しかし、一度このウイルスに感染させ たマウスの脳から分離したウイルスは、アミノ酸置換が起 こっており、病原性を増加させた。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
												トリインフルエンザ	J Virol 2005; 79: 11788-11800	2004年にアジアでヒトから分離されたトリインフルエンザ H5N1 ウイルスは、マウスおよびフェレットで高い致死率を示したが、トリから分離された H5N1 ウイルスは高い致死率を示さなかった。フェレットにおいて、2004年ヒト分離 H5N1 ウイルスは、1997年ヒト分離 H5N1 ウイルスと比べ、症状の急速な悪化、高い致死率を示した。
												トリインフルエンザ	Nature 2005; 437: 1108	2005年2月、ベトナムのトリインフルエンザ感染者においてオセルタミビルに耐性を示す H5N1 型ウイルスが発見された。患者は予防量から開始し、のち高用量(治療量)投与され、回復した。高用量投与後はウイルスは分離されなかった。フェレットに感染させた実験で、オセルタミビル耐性ウイルスはザナミビルには感受性を示した。
												インフルエンザ	Science 2005; 310: 77-80	1918年に大流行したインフルエンザ(スペイン風邪)ウイルスの病原性を調べるため、当時インフルエンザで死亡した患者の肺組織から1918ウイルスRNAを再現した。1918ウイルスはマウスおよびニワトリ胚で致死性を示し、ヒト気管支上皮細胞で高成長型表現型を示した。
												インフルエンザ	Science 2005; 310: 28-29	米国の研究チームは、1918年に大流行したインフルエンザ(スペイン風邪)で死亡した患者の肺組織から1918ウイルスを復活させた。1918ウイルスはマウスおよびニワトリ胚で致死性を示し、ヒト気管支上皮細胞で高成長型表現型を示した。1918ウイルスの増殖機構を調べることにより、新しい抗ウイルス薬の開発に役立つであろう。
												トリインフルエンザ	動物衛生研究成果情報 2004; 4: 7-8	2004年1月に、日本で発生した高病原性トリインフルエンザから分離されたウイルスを遺伝学的ならびに病原学的に解析した。分離ウイルスは韓国分離株と同じ遺伝子型に属し、タイやベトナム分離株とは異なること、またニワトリに対し高病原性であることが明らかになった。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
												トリインフルエンザ	獣医畜産新報 2005; 1011: 849-852	現在アジアを汚染しているH5N1ウイルスは、1996年に中国広東省のガチョウ農場で最初に発見されて以来、この10年間に多くの動物種に対して病原性を高め、また宿主域を広めている。ニワトリ、水鳥(カモ、サギなど)、留鳥(カラス、スズメなど)、哺乳類(マウス、ネコ、ヒトなど)に対する病原性の推移について述べた。
												トリインフルエンザ	鶏病研究会報 2005; 41(増刊号): 9-16	アジア各国で発生している高病原性トリインフルエンザの現時点での防疫対策は感染個体の殺処分と移動制限による封じ込めである。しかし、ゲノム解読、ナノテクノロジー等による研究の積み重ねは、確実にインフルエンザ対策に貢献していることは間違いないと考えられる。
156	2006/3/10	50962	日本シェーリング株式会社	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中華人民共和国	有効成分	有	無	無	レンサ球菌感染	WHO 2005年8月16日 http://www.wpro.who.int/media_centre/news/news_20050816.htm	2005年8月16日現在、中国四川省におけるブタでのStreptococcus suis流行に関連した疾病はヒトで215例発生し、そのうち39例が死亡した。流行のピークは2005年7月の第2週から第4週であった。病気のブタに接触したことが感染の原因とみられ、ヒトからヒトへの感染はなかったと思われる。更なる調査中である。
157	2006/3/10	50963	アポット・ジャパン株式会社	レビパリンナトリウム	レビパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜ヘパリン	中国	有効成分	有	無	無	レンサ球菌感染	WHO 2005年8月16日 http://www.wpro.who.int/media_centre/news/news_20050816.htm	2005年8月16日現在、中国四川省におけるブタでのStreptococcus suis流行に関連した疾病はヒトで215例発生し、そのうち39例が死亡した。流行のピークは2005年7月の第2週から第4週であった。病気のブタに接触したことが感染の原因とみられ、ヒトからヒトへの感染はなかったと思われる。更なる調査中である。
158	2006/3/10	50964	株式会社ベネシス	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン①、② 人免疫グロブリン③	人免疫グロブリンG	人血液	①日本、②③米国	有効成分	有	有	無	B型肝炎	AABB Weekly Report 2005; 11(26): 4-5	米国のFDA血液製剤諮問委員会で、HBV DNA陽性、HBc抗体陰性、HBs抗原陰性、又は中和試験で確認されないが、繰り返しHBs抗原陽性であった輸血用の全血および血液成分のドナーは、最低6ヶ月経過した後に個別NATIによりHBV DNA陰性、HBc抗体陰性及びHBs抗原陰性であれば再登録できることを合意した。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
												変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature 2005; 437: 257-261	伝達性海綿状脳症(TSE)におけるPrPを含む凝集体のサイズと、感染性及び変換活性との関係を調べたところ、14-28PrP分子に相当する凝集塊を持つ非線維粒子がTSEの最も有効なイニシエーターであることが示唆された。
												ウエストナイルウイルス	Yomiuri Online 2005年10月3日	厚生労働省は2005年10月3日、米国から日本帰国した男性会社員が米国で流行中のウイルス感染症である西ナイル熱と診断されたと発表した。発熱などの症状がみられたが、すでに回復している。
												ウイルス感染	J Infect 2005; 51: 91-97	サウジアラビアAlkhumra地区で1995年に6人のデング熱のような患者から、ダニ媒介性キャサヌル森林熱ウイルスに非常に類似した新種のフラビウイルスが発見され、ALKV(Alkhumra virus)と命名された。サウジアラビアMakkahで2001年-03年にALKV疑い37例が確認され、そのうち20例からALKVが検出された。肝炎、出血兆候、脳炎などを伴い、致死率は25%であった。感染経路はヒツジやヤギの直接接触か蚊刺傷からの感染が考えられ、新たな人畜共通出血熱と考えられる。
												変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Science 2005; 310: 324-326	慢性炎症性腎疾患が、感染性プリオンを尿中に排出する引き金になるか検討した。リンパ球性腎炎を有するスクレイビー感染マウスの尿蛋白を接種した非感染マウスは、スクレイビーを発症した。尿はプリオンの水平感染ベクターとなり、排泄臓器の炎症はプリオンの拡大に影響を及ぼす可能性が示唆された。
												寄生虫感染	Transfusion 2005; 45: 1804-1810	コネチカット州のバベシア流行地及び非流行地の血液ドナーそれぞれ1745例の血清をBabesia microti抗体について調べた。流行地の血清学的陽性血液ドナーは24例(1.4%)で、非流行地の陽性血液ドナー(6例、0.3%)より多かった。また、血清学的陽性の血液ドナー19例のうち10例(53%)がPCRによりBabesia microtiに陽性であった。輸血により本寄生虫血症が伝播するおそれがある。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
												変異型クワイツフェルト・ヤコブ病	J Virol 2005; 79: 13794-13796	慢性消耗病(CWD)感染ミールジカの脳組織を、リスザルの脳内に接種したところ、リスザルは進行性神経変性疾患を発現した。リスザルの脳組織にはPrPresが検出され、海綿状変性が認められた。霊長類にCWDが感染した初めての報告である。
												トリインフルエンザ	WHO/GSR 2005年11月17日	中国で初めて2例の高病原性トリインフルエンザウイルス(H5N1)感染症例が確認された。1例は回復したが、もう1例は死亡した。
												ウイルス感染	J Clin Microbiol 2005; 43: 5428-5434	米国で1987年から1996年の間にHIV感染小児患者57例から採取し、凍結保存した末梢血単核細胞(PBMC)と2002年から2003年に健常者19例から採取した新鮮PBMCにおいてヒトパピローマウイルス(HPV) DNAを調べた。患者8例と健常者3例がHPV型16ゲノムの2つのサブグループの大部分に陽性であり、これら11のPBMC検体すべてで検出されたHPVゲノムはエピソード型として存在した。PBMCはHPVのキャリアであり、血液を介してHPVを広めるおそれがあることが示唆された。
												クロストリジウム感染	N Engl J Med 2005; 353: 2433-2441	米国において、毒性、抗菌薬耐性、あるいはその両方が高まったClostridium difficileの新菌株の出現により、関連疾患の発生率と重症度が上昇している可能性が示唆されている。2000年から2003年に本菌関連疾患の集団発生が起きた8医療施設から得た本菌の分離株187株を、2001年以前の分離株データベースと比較した。その結果、全施設の分離株で同定された最近のBI/NAP1株は、ガチフロキサシンとモキシフロキサシンに耐性を示すことが明らかとなった。
159	2006/3/10	50965	株式会社 ベネシス	人血清アルブミン①、②、③ 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子④ 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子⑤	人血清アルブミン	人血液	①②④⑤日本、③米国	有効成分 添加物	有	有	無	B型肝炎	AABB Weekly Report 2005; 11(26): 4-5	米国のFDA血液製剤諮問委員会で、HBV DNA陽性、HBc抗体陰性、HBs抗原陰性、又は中和試験で確認されないが、繰り返しHBs抗原陽性であった輸血用の全血および血液成分のドナーは、最低6ヶ月経過した後個別NATによりHBV DNA陰性、HBc抗体陰性及びHBs抗原陰性であれば再登録できることを合意した。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
												変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature 2005; 437: 257-261	伝達性海綿状脳症(TSE)におけるPrPを含む凝集体のサイズと、感染性及び変換活性との関係を調べたところ、14-28PrP分子に相当する凝集塊を持つ非線維粒子がTSEの最も有効なイニシエーターであることが示唆された。
												ウエストナイルウイルス	Yomiuri Online 2005年10月3日	厚生労働省は2005年10月3日、米国から日本帰国した男性会社員が米国で流行中のウイルス感染症である西ナイル熱と診断されたと発表した。発熱などの症状がみられたが、すでに回復している。
												ウイルス感染	J Infect 2005; 51: 91-97	サウジアラビアAlkhumra地区で1995年に6人のデング熱のような患者から、ダニ媒介性キャサヌル森林熱ウイルスに非常に類似した新種のフラビウイルスが発見され、ALKV(Alkhumra virus)と命名された。サウジアラビアMakkahで2001年-03年にALKV疑い37例が確認され、そのうち20例からALKVが検出された。肝炎、出血兆候、脳炎などを伴い、致死率は25%であった。感染経路はヒツジやヤギの直接接触か蚊刺傷からの感染が考えられ、新たな人畜共通出血熱と考えられる。
												変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Science 2005; 310: 324-326	慢性炎症性腎疾患が、感染性プリオンを尿中に排出する引き金になるか検討した。リンパ球性腎炎を有するスクレイピー感染マウスの尿蛋白を接種した非感染マウスは、スクレイピーを発症した。尿はプリオンの水平感染ベクターとなり、排泄臓器の炎症はプリオンの拡大に影響を及ぼす可能性が示唆された。
												寄生虫感染	Transfusion 2005; 45: 1804-1810	コネチカット州のバベシア流行地及び非流行地の血液ドナーそれぞれ1745例の血清をBabesia microti抗体について調べた。流行地の血清学的陽性血液ドナーは24例(1.4%)で、非流行地の陽性血液ドナー(6例、0.3%)より多かった。また、血清学的陽性の血液ドナー19例のうち10例(53%)がPCRによりBabesia microtiに陽性であった。輸血により本寄生虫血症が伝播するおそれがある。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
												変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	J Virol 2005; 79: 13794-13796	慢性消耗病(CWD)感染ミューズジカの脳組織を、リスザルの脳内に接種したところ、リスザルは進行性神経変性疾患を発現した。リスザルの脳組織にはPrPresが検出され、海綿状変性が認められた。霊長類にCWDが感染した初めての報告である。
												トリインフルエンザ	WHO/CSR 2005年11月17日	中国で初めて2例の高病原性トリインフルエンザウイルス(H5N1)感染症例が確認された。1例は回復したが、もう1例は死亡した。
												ウイルス感染	J Clin Microbiol 2005; 43: 5428-5434	米国で1987年から1996年の間にHIV感染小児患者57例から採取し、凍結保存した末梢血単核細胞(PBMC)と2002年から2003年に健常者19例から採取した新鮮PBMCにおいてヒトパピローマウイルス(HPV) DNAを調べた。患者8例と健常者3例がHPV型16ゲノムの2つのサブグループの大部分に陽性であり、これら11のPBMC検体すべてで検出されたHPVゲノムはエピソーム型として存在した。PBMCはHPVのキャリアであり、血液を介してHPVを広めるおそれがあることが示唆された。
												クロストリジウム感染	N Engl J Med 2005; 353: 2433-2441	米国において、毒性、抗菌薬耐性、あるいはその両方が高まったClostridium difficileの新菌株の出現により、関連疾患の発生率と重症度が上昇している可能性が示唆されている。2000年から2003年に本菌関連疾患の集団発生が起きた8医療施設から得た本菌の分離株187株を、2001年以前の分離株データベースと比較した。その結果、全施設の分離株で同定された最近のBI/NAP1株は、ガチフロキサシンとモキシフロキサシンに耐性を示すことが明らかとなった。
160	2006/3/10	50966	株式会社ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子	血液凝固第Ⅷ因子	人血液	日本	有効成分	有	有	無	B型肝炎	AABB Weekly Report 2005; 11(26): 4-5	米国のFDA血液製剤諮問委員会で、HBV DNA陽性、HBc抗体陰性、HBs抗原陰性、又は中和試験で確認されないが、繰り返しHBs抗原陽性であった輸血用の全血および血液成分のドナーは、最低6ヶ月経過した後に個別NATによりHBV DNA陰性、HBc抗体陰性及びHBs抗原陰性であれば再登録できることを合意した。

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
												変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature 2005; 437: 257-261	伝達性海綿状脳症(TSE)におけるPrPを含む凝集体のサイズと、感染性及び変換活性との関係を調べたところ、14-28PrP分子に相当する凝集塊を持つ非線維粒子がTSEの最も有効なイニシエーターであることが示唆された。
												ウエストナイルウイルス	Yomiuri Online 2005年10月3日	厚生労働省は2005年10月3日、米国から日本帰国した男性社員が米国で流行中のウイルス感染症である西ナイル熱と診断されたと発表した。発熱などの症状がみられたが、すでに回復している。
												ウイルス感染	J Infect 2005; 51: 91-97	サウジアラビアAlkhumra地区で1995年に6人のデング熱のような患者から、ダニ媒介性キャサヌル森林熱ウイルスに非常に類似した新種のフラビウイルスが発見され、ALKV(Alkhumra virus)と命名された。サウジアラビアMakkahで2001年-03年にALKV疑い37例が確認され、そのうち20例からALKVが検出された。肝炎、出血兆候、脳炎などを伴い、致死率は25%であった。感染経路はヒツジやヤギの直接接触か蚊刺傷からの感染が考えられ、新たな人畜共通出血熱と考えられる。
												変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Science 2005; 310: 324-326	慢性炎症性腎疾患が、感染性プリオンを尿中に排出する引き金になるか検討した。リンパ球性腎炎を有するスクレイビー感染マウスの尿蛋白を接種した非感染マウスは、スクレイビーを発症した。尿はプリオンの水平感染ベクターとなり、排泄臓器の炎症はプリオンの拡大に影響を及ぼす可能性が示唆された。
												寄生虫感染	Transfusion 2005; 45: 1804-1810	コネチカット州のパベシア流行地及び非流行地の血液ドナーそれぞれ1745例の血清をBabesia microti抗体について調べた。流行地の血清学的陽性血液ドナーは24例(1.4%)で、非流行地の陽性血液ドナー(6例、0.3%)より多かった。また、血清学的陽性の血液ドナー19例のうち10例(53%)がPCRによりBabesia microtiに陽性であった。輸血により本寄生虫血症が伝播するおそれがある。